

令和6年度

中心市街地まちづくり通信 Vol. 6

第6回中心市街地まちづくりワークショップ

2024年11月9日(土) 14:00~16:30 第6回テーマ

竹原市民館 参加者: 17名

『複合施設での企画を具体化しよう』

第6回中心市街地まちづくりワークショップを開催しました！

今回のワークショップでは、第5回中心市街地まちづくりワークショップで意見交換した『複合施設を使った企画』をもとに企画の深掘りや実施・運営するにあたっての心がけなどについて意見交換し、企画書をつくりました。また、新しい複合施設やその周辺の3D都市モデルを使って、施設の規模や周辺からの見え方を確認しました。

■当日のプログラム

14:00 ~ 14:25	開会 前回のWSの振り返り “クレド”の概要説明
14:25 ~ 15:45	【グループワーク】 複合施設での企画を具体化しよう
15:45 ~ 16:20	各グループからの発表/アドバイザーからの講評
16:20 ~ 16:30	3D都市モデルでのモデルケースの説明 今後の予定、閉会



当日の様子

第6回中心市街地まちづくりワークショップには、竹原市内の方を中心に、多くの市民に参加していただき、全17名の方にお集まりいただきました。

前回のワークショップの振り返りや複合施設を使い倒すために重要となる**クレド(信条・志)**の概要・先進事例の成功例などを竹原市から情報提供しました。

グループワークでは、『子どもや親をターゲットにした取組』『楽器の演奏など音楽が好きな人が考える取組』『知識や経験、仲間を増やす取組』『市内外から人を集める取組』から参加者が各自選んだグループで意見交換しました。企画の深掘りでは「**音楽で人との繋がる1000人バンド**」や「**今の竹原市役所とのお別れ会として記憶に残る大懇親会の開催**」、「**だれでも楽しめる日本一敷居の低い複合施設**」など、具体的な企画案をつくりました。これらの企画を実施・運営するために、『私は竹原市を元気にするために、こどもの声を街中にひびき渡させます！』『私は楽しく暮らすために遠くにいても手をふり合える知り合いをたくさんつくりたい。』など、一人ひとりの心がけを宣言しました。



子どもや親をターゲットにした取組

『日本一敷居の低い複合施設』



企画のポイント

- ・活動を見える化することで、いろいろな人が集まり、新たな発見や学びにつながる
- ・施設でチャレンジができるようなルールをつくる
- ・元気と笑顔がキーワード



私は自分が楽しむために人を笑わせます!!

私は竹原の子どもたちのために笑顔を増やします



楽器の演奏など音楽が好きな人が考える取組

音楽で人との繋がりがづくり



企画のポイント

- ・奏者や裏方、観客それぞれに違った達成感がある
- ・音楽を通じて、楽器作りや運動など、他の活動とセッションを生む
- ・みんなで一体感や感動を味わえる『場』をつくる



私は来場者が一体となってセッションの楽しさを体験してもらうため、間のつながぎをします。



私は生演奏のすばらしさを、皆さんに知ってもらうため、仲間達と演奏をします。

知識や経験、仲間を増やす取組

「市民の部活動」を広げる活動



企画のポイント

- ・移住者やヨソモノと地域の人と一緒に活動を広げ、イキイキした雰囲気をつくる
- ・色々な活動を連携させ、主体的に魅力を発信し続ける
- ・今ある魅力やノウハウを育て、将来につないでいく



私は竹原で暇をもてあます若者のため、誰でも見られる SNS で地域活動の発信に協力します。

私は高齢者の地域間交流のため定期的に施設に集まってもらい情報交換や交流推進を行います。



市内外から人を集める取組

広島『大懇親会』in 竹原



企画のポイント

- ・市内外から人が集まり、一緒に一体感を味わえる
- ・市役所周辺だけでなく、周辺も含めて賑わいが生まれる
- ・古くなっていくものに感謝を伝え、歴史に残すことが出来る



私は自分が楽しむために遊びます!

私は新たな施設に人をいっぱい巻き込むために、現庁舎の楽しい思い出をあと4年で、みんなとつuckingしていきます!



【問い合わせ】 竹原市役所 企画部 企画政策課 公共施設再整備担当 (伊藤、中井)

TEL : 0846-22-1568

E-Mail : kikaku@city.takehara.lg.jp